



LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース 2019 OCTOBER Vol.2



令和元年

11月4日(月・祝)

TKPガーデンシティ品川
(SHINAGAWA GOOS IF)

限定1,000名

全経連令和記念チャリティ講演会・パーティー

夢実現! 志事人大集合



人生100年時代の 国づくり

ゲスト
スピーカー

環境大臣 衆議院議員
小泉進次郎先生



全経連 理事長 谷口智治

オープニングセレモニー



ヴァイオリニスト 川井郁子氏

国内外のオーケストラをはじめ、世界的音楽家たちと共演。

司会進行



石田 純一氏

俳優、キャスター、バラエティ番組出演など幅広く活躍。

王 理恵氏

講演活動、地方自治体のPR等を行っている。日本野菜ソムリエ協会理事。

パフォーマンスアクト



AUN (井上兄弟)

井上良平、公平の双子の兄弟で三味線を演奏します。

ゲストインタビュー



阿部かな子氏

元宝塚歌劇団。ライオンズクラブ国際協会330-A地区 東京ピースライオンズクラブ初代会長。

主催: 一般社団法人 全国経営者団体連合会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント19階

TEL:03-4346-0721 (代表)

協力: ライオンズクラブ国際協会330-A地区



思いやりを行動へ

思いやりのある人々が力を合わせ、自ら汗を流して地域社会の改善に取り組むのはすばらしいことです。参加している一人ひとりが、例えようもないほどの充実感を味わいます。それがライオンズです。

ライオンになることは、自らが模範となり、関係を築き、思いやりによって世界を良くすることを意味しています。

人助けを願う 140 万人の男女がともに奉仕することで、永続的なインパクトを生み、より多くの人々の暮らしを変えることができるのです。
ライオンズクラブ国際協会

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区（東京地区）は皆様のご入会を心よりお待ちしております。

私は 2013 年 5 月、当時私の所属する中野 LC が 50 周年を迎える期を直前に、積極的に新入会員の勧誘をしており、私を含め 10 名近くのメンバーが入会致しました。今思えば周年時期と重なり、忙しくライオンズ活動に取り組んだことが、自身の成長と多くのメンバーとの絆を作るきっかけとなりました。60 名の正会員を要し、年間の出席率は毎年 80% を越えております。ライオンズクラブの最も大切なアクティビティの一つである薬物乱用防止教室も 330-A 地区では、2 番目に開催がスタートされており、今現在も年間 20 校近くの小中学校で開催しております。自地域での奉仕活動が最も基本となるライオンズの理念ということにおいて、中野ライオンズクラブは、ライオンズの原点に最も近い活動を忠実にこなしている団体だと誇りに感じています。中野ライオンズクラブのこうした活動を少しでも生かしていくためにキャビネットの活動にも参加していきたいと思えます。ライオンズ活動で徳を積むことは、人生を有意義なものにすると思えます。

一人でも多くの方がこの陣列に加わることを楽しみにしています。一人でも多くの皆様が入会されるようお誘い下さい。

マーケティング・コミュニケーション IT 委員会委員
L 花堂 浩一（東京中野ライオンズクラブ所属）



ライオンズクラブとの出会いは、約 2 年前でした。最初は通常例会と移動例会にゲストで参加しました。当然のことながら、周りは知らない人ばかりでとても緊張をしていましたが、何人もの方の方に話しかけていただき、あっという間に緊張がとけたと記憶しています。

その後承認をいただき、2017 年 12 月に東京三鷹ライオンズクラブの一員となりました。

入会するとあっという間に、クラブに打ち解けることができました。

趣味でトランペットという楽器を市民楽団で演奏しているのですが、昨年の自クラブのクリスマス例会では、クラブ以外の友人と共に演奏する機会をいただき、時には先頭に立って自分自身もクラブ活動を楽しんでいます。

自クラブで会員交流委員会を担当していた時に、年に一度の旅行例会の打ち合わせで、前職がバスの運転手だった私は「バラバラに電車で行くよりも、レンタカーを運転するので、まとめてバスで行きませんか？」と提案したところ二つ返事で賛成いただくなど、年齢やクラブ歴にとらわれず、意見や提案を取り入れていただいています。

入会直後の 2018 年 7 月には 330-A 地区キャビネットへ出向し、情報テクノロジー委員会委員を仰せつかりました。驚異的なスピードで他クラブの方々との繋がりができ、様々なコミュニケーションを形成することができました。

正直、軽い気持ちで入会したライオンズクラブですが、喜んでいただける満足感ややりがいを感じて、日々の活動を行っています。

最近では若い会員も増えてきています。幅広い年齢層や業種の会員と一緒に活動をしていける仲間も随時募集しています。共にライオンズクラブで楽しんでみませんか。

マーケティング・コミュニケーション IT 委員会委員
L 石田 賢（東京三鷹ライオンズクラブ所属）

CONTENTS

02 — 特集：今だから言えるリーダーの役割

04 — 特集：ドレミファダンスコンサート

L 松浦辰吉インタビュー

08 — クラブアクティビティ報告

16 — 特集：ガバナー公式訪問

18 — キャビネット関連報告・委員会セミナー等

24 — LCIF レポート

今だから言えるリーダーの役割



インタビューの目的

1970年7月マッカー国際会長が就任挨拶で「10月8日」をWorld Lions Service Day（世界ライオンズ奉仕日）として半世紀。10月は世界各地で地域での奉仕がより積極的に展開され、世界へ大きなインパクトを与えている。今期、伊賀ガバナーは、ガバナーズ・テーマ「絆をつなぐ」、ガバナーズ・スローガン「団結の力で感動あるアクティビティの実現」を掲げ、これまでの歴史を大切に、外部への情報発信に力を入れ、ライオンズの存在意義（価値）をより高めて、地域社会へのインパクトを与えていく1年が歩み始めた。今回、日頃から現場でのアクティビティに日常習慣的に参加し、メンバーをリードしている二人の元ガバナー石井征二と近藤正彦に様々なアクティビティ成功の秘訣をインタビューした。その中で、ガバナーを経験した二人に、「今だから言えるリーダーの役割」を披露してもらった。

次の世代へ We Serve の絆をつなぐためにインタビューを開催した。

ガバナー期、特に印象に残っているアクティビティは
石井 L 会員増強、それ一本です。当時やきよ L C の高麗 L に会員増強委員を立上げて、1,000人の増強目標を立てました。当初は難しい目標と言われましたが、とにかくやってみよう、ガバナー公式訪問では上着を脱いで、腕まくりしてハンドマイクで「歴史のあるクラブは会員増強しないと無くなってしまう、我々もつと危機感を持ちましょう、若い人を入れましょう」と会員増強の必要性を訴えました。また、この時に家族会員制度を導入されましたが、これを理解してもらうのは大変でした、当時山浦 P I D が G M T で家族会員制度の導入を促す案内を作られ、次第に家族会員への理解が浸透して、最終的には目標の1,000人に16名足りませんでした。その年のミネアポリスの国際大会では世界で活躍したガバナー7人に選ばれ表彰されました、その時壇上で会員増強に協力してくれた人々みんなに感謝の気持ちを伝えるスピーチをさせてもらい、非常に感激しました。
近藤 L 私のガバナー期は、8複合議長連絡会議の議長との兼務でしたので、当初、準地区或いは複合地区としてのアクティビティは特に考えませんでしたし、また当時キャビネットとしてのアクティビティは控え、各クラブのアクティビティを応援することがその使命との印象を持っていました。しかし当時の山田元国際会長の「キャビネット自身のアクティビティに積極ではないのは、日本のライオンズクラブではとすよ」との発信をうけ、それではと、復興関連委員会に在籍されておりました高橋淳 L からの素敵なご提案をいただき、また、フジコへミンダグ氏の東北の人々への篤い思いを承けて、『東日本大震災復興支援コン



サート』をアクティビティとして進めました。その際には、フジコへミンダグ氏の特段のご厚意をいただきました。これは、心に残る貴重な思い出です。また、フジコへミンダグ氏には改めてお礼申し上げます。高橋淳 L におかれましては重ねて感謝申し上げます。開催にあたりましては会場を被災地である仙台で行う事にし、332 C 地区と共に進めようという方向になり、両地区の幹事団で打ち合わせを重ねる事で同じ方向を向いたアクティビティの共催にすることができました。また、332 C に聴衆の動員をお願いしましたところ、地元メディア（東北放送、河北新報他）のご協力もあり、定員の数倍を超す応募があり、コンサートの後のアンケートでも、示唆的なレスポンスをいただきました。結果として、重ねて332 C 地区のガ



バナーはじめメンバーの皆様への感謝を表明いたします。

当時の記事→ https://www.lions-news.com/pdf/web_news_2015-2016_vol5.pdf
アクティビティを成功に導く秘訣は
― 一番気をつけた事は

石井L ガバナーのリーダーシップが必要で熱意がないとダメですが、ガバナーだけではなくキャビネット構成員のRC、ZC、幹事団、各委員長がガバナーの熱意を真剣に受け取り330・Aの為に、強い思いを持つてもらうことが大事。

アクティビティではまず自分が先頭に立ち行動して、若いメンバーを引っ張り、都立富士森高校のブラスバンド部と、八王子陵東、尾張町、蒼天、新世紀LCで東北被災地に慰問に行っています。これには必ず若いメンバーに参加してもらい、被災地の現状を理解して、まだまだの復興になお一層の奉仕活動の必要を思い、支援しなければの気持ちを持っています。そのため継続しています。

近藤L 『リーダー』には色々な意味があると思います。中でも同義語のコンダクター（演奏指揮者）、ディレクター（映画監督）はそれぞれ演奏者、アクターの才能や能力を発揮していただくための仕事とその役割、と理解しております。

特にLCにおいては、多くの選ばれた素晴らしい方々の演奏環境、行動環境を作ることが、その使命と理解しております。各クラブからキャビネットにおいていた

いただきましたメンバーにはさらに才能を発揮していただき、良い環境で仕事をしたい。だからためのシナリオ作り、コンダクターとディレクターを合わせたガバナーのリーダーシップ（ガバナビリティ）を意識してまいりました。

アクティビティ受給者からの感想などは
石井L 感謝の気持ちを多く受け取りますが、ライオンズクラブの事を聞かれます。

懇親会などでは、ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体で、災害があればLCIFから多額支援金が迅速に供与される事など、ライオンズクラブを知ってもらう事を常に心がけています。いかに興味を持つてもらおうかが大事で被災地の方や都立富士森高校の関係者の方などを、クラブ例会に招待してライオンズをアピールしています。

受け継いできた歴史を次世代へ伝授する為に工夫している事はありますか

石井L 入会当時から言われた事は、奉仕と友好、先ずは友好で仲良くなければアクティビティはできない。また、先ほども言いましたが若いメンバーを引き上げ、活躍して貰う環境づくりを引き継ぎたい。

近藤L 入会当時の例会の席で、会長の隣に座らせていただき（それも結構長期にわたり）、とてもチャホヤしていただきました。それらの時、LCはとても暖かいところだなあと感じましたし、その後の二次会でも一層チャホヤして頂き、特に石井Lには優しく和ませて頂きました。入会当時は年配の方々も多く、例会時とはとても緊張しておりましたが、二次会では一層緩んだ雰囲気でした。非常に歓迎されているのだと改めて思った次第です。新入会員を歓迎する、チャホヤすることは何とも大事で、是非とも次世代へ引き継いで頂きたいですね。

さらに、特定の仲間だけの殻を作らない事もクラブ内の友好にとりまして、重要で、必須なことであると思います。

近年情報の共有と発信、そのスピード化を体験して感じている事は
石井L 330・Aのホームページは国際大会やフォーラムの後に見ます。ペーパーレスの話は18年くらい前から

あったが、当時も半分以上のメンバーが反対であった。LCのIT化は必要だと思おうし、いずれはペーパーレスの時代になると思うが現在のメンバーの多くが60歳以上であり、急な転換は難しいと思う。また昨今の組織名で略した横文字がわかりにくい、例えばGATGLTなど、理解できない年配のメンバーが辞めている事もある。

また、キャビネット会議などの議案集や議事録はメールか郵送か希望を聞いて対応するべきで、関係者全員に郵送は無駄だと思う、メールだけで良いメンバーも多々いるはず。

近藤L スピード化は強く感じていますが、また330・A地区のホームページも見ておられます。IT化による社会への様々な対応は、必要欠くべからざる時代ですね。往年議長連絡会議、ライオン誌編集会議等にて国際協会方針により、ライオン誌へのバックアップ費用がごく近い将来きわめて少なくなるため、印刷費、取材費の削減など行いましたが、『ライオン誌が電子版だけ』になりますと、読者が比較的限られてしまうのではないかと議論が多く寄せられておりますので、電子版に限定するのは時期尚早でしょうか。

今後、ライオンズクラブが地域社会で果たすべき役割とは

近藤L 特別な限られた活動といえますが、とにかくできる事を継続し、結果社会にアピールができた、これが大事だと



思います。色々なクラブが多くのアクティビティを継続する、その集大成がキャビネットであつて、そもそも社会へのアピールファーストは目的ではなく、やはり結果として社会にアピールできることが大事だと思っています。また、継続するためには変化が必要で、社会とライオンズクラブとの情報交換で今求められていること、またクラブ内でもアクティビティが時代と著しく齟齬がないだろうか、議論しながらの変化が求められていると思います。

石井L 薬物乱用防止活動は21年間続けてきました、これがクラブアクティビティの柱です。それと同時にその時の状況で、大きな災害などがあればライオンズメンバーみんなで支援しますが、やはり必要なのはお金で、LCIFです。わたしは毎年ガバナーになる方にはLCIFと会員増強が2本の柱で、片方だけでなく両方を頑張つてほしいとお願ひしています。ガバナーは1年間の任期です、1年後には前ガバナーです、とにかく1年間全力を尽くして頂きたい、改めてお願いいたします。

インタビュをを終えて

3年前、2016年4月広報委員会が熊本地震の募金活動取材した時、JR八王子駅前募金箱を持ち大きな声で「熊本地震被災者への支援募金協力お願いします！」と先頭に立つて叫んでいたのが、石井征二元Gでした。また、3月仙台市で開催したフジコ・ヘミングさんのコンサートで関係団体との調整、適材適所に人材を配置して円滑に運営、そして、参加者へのアンケートを実施(2016.4.地区ニュースに掲載)、来場者とLC双方のコミュニケーションを行ったのが近藤正彦元Gでした。リーダーとしてまずやってみせる、またアクティビティ全体をプロデュースしながら、若手の能力を見抜き巻き込み、役を任せていく。LC成長、アクティビティ成功の秘訣を披露いただき、次世代へ棒をつなげるインタビューでした。

マーケティング・コミュニケーション・IT委員会
 副委員長 L赤尾 嘉晃

ダンスコンサート

辰吉インタビュー



Ｌ細田 ボランティアとの出会いについて教えてください。

Ｌ松浦 私は美容業界にいますが、美容学校に入学した時にクラスの仲間で「美容師になったらおじいちゃん、おばあちゃんや障害者の髪を切ってあげよう」ということがありました。そして、10人20人連れて、重度身体障害者のところに行つて、髪を切ったのがはじまりです。次の日に、「ありがとうございます。これで百恵ちゃんに変わりました。」というハガキを頂き、障害者の方が喜んでくれる顔を浮かべて今まで続けてこられたのかなという思いでした。

Ｌ細田 ライオンズクラブ(以下LC)に入会したきっかけは何でしょうか。

Ｌ松浦 LCはその当時はそんなに重要視していなかったのですが、ボランティアを始めて40年くらいたつたときに、これをもっとたくさん美容業界の人に知って頂けないかと思つた。美容業界はカリスマという言葉に流されて良いことをみんな忘れてしまつていた。ライオンズを意識したのは友達に神宮LCに誘われ、ちょうどその時、原宿LCのゴルフの先生にも、「ライオンズに入らないか?」と誘われ顔を出したのです。そこには南国酒家の社長がいて、美容室をオープンしたときの恩人でした。障害者のことを話したら、「うちのクラブに入ったら、それができろぞ」というので、即入会を決めました。

Ｌ細田 東京都障害者ダンス大会ドレミファダンス)を立ち上げた頃のエピソードを教えてください。

Ｌ松浦 当時、原宿LCが三十数

年間福祉大相撲をやっていて、障害者の人たちを国技館に招待して、1000人分のお土産を用意して問題がおきたので、中止にして、我々は次のアクティビティを考えました。テレビ朝日とトルヴァンコンチエルトというクラシックを障害者に聴いてもらうというものを創りました。しかし演奏中、障害者が声を出し、そのとき演奏者が舌打ちをしました。それを聞いた時に「これはいけないな」、「こういうコンサートは障害者には向かない」と思いました。静かにしなさいと育てられた中で、音楽であってもそういうことが起きるのかと。それならば「騒いで暴れて楽しめることは何かないかな」というところで、音楽に合わせ踊るという古代からの普遍的な活動、ダンスで暴れよう!というものを創りました。

Ｌ細田 表参道LCを立ち上げたきっかけを教えてください。

Ｌ松浦 当時、原宿LCでその時の様子を話し、ダンスと音楽で障害者を楽しませたいと提案しましたが、もう少し時間がかかるので、新しくドレミファダンスをやるためだけにクラブを立ち上げました。

Ｌ細田 実際に開催してみても障害者の方からの反応や、親御さんの反応などで心に残っていることはありますか。

Ｌ松浦 私の家族にも障害者がいましたから、自分が亡くなったときにこの子がどうなるのかという悩みを持っていました。この悩みのない障害者ファミリーは一組もないと思います。また、本当の子どもの姿を知らないのはその親だと思っています。

ドレミファダン

東京表参道LC L松浦



なぜかという障害者がどれだけの才能を持っていて、本当はどんなことをしたいのか、何ができるのかというのを引き出してあげられない。それは、一般の家族でも同じですが、そこでこのドレミファダンスでは、大声を出しながら、リズムに乗って、本気で踊れる。その姿を見た時に親は初めて子供の才能を知るのです。頂くお手紙には「自分の子供の才能を初めて見た」と。ここに私がやっている意味があります。たくさんの人に知ってもらおうと思うから、初めは小さな会でしたが、障害者や健常者、理解者がたくさん集まり、大きな会になったのだと思います。

L細田 2017年の10回記念大会では、秋篠宮紀子妃殿下並びに佳子内親王殿下にご臨席賜りましたが、お招きした経緯を教えてください。

L松浦 私のお弟子さんが目白駅前美容室を経営していた時に紀子さまが来店されました。その時「先生、紀子ちゃんです、よろしくお願います。」と私に紹介してくれて、会話の中で、紀子さまもボランテアをしているということ、私もボランテアをやっているよ、絶対そのうち一緒にやりましょう!」「はいやりましょう!」と言って握手をして別れました。そして、5年前からドレミファダンスのことを紀子さまに知らせることを始めました。手紙で3年かかってL飯田がパンフレットを添えて送り続けました。絶対に来てもらいたいという気持ちも訴えて。あるとき宮内庁から呼び出しが来ました。「紀子妃殿下が手紙とパンフレットをご覧になり、このドレミファダンスを非常に気にしている」と言

われ、「パンフレットを紀子さまがご覧になったのですか」と聞いたところ、「ご覧になっていきます、是非という言葉添えて出席する」と。私たちは体が震え、涙があふれました。「30数年前に約束したことが、本当になるんだな。私たちのやってきたことが宮内庁の皇族までに認められるようになってきたのだな」と思うと、本当にありがたうという強い感謝の気持ちで当日を迎えました。

L細田 実際アテンドされていかがでしたか。私は様子を拝見していて、紀子さまが親しげにお話しされていたことが印象的でした。

L松浦 車が到着するところに私と小池都知事と館長がお迎えをして、「今日はありがたうございます。」と申し上げたら、「私くし、あの時のことを覚えていますよ」というところから始まって、それを聞いた瞬間から胸が熱くなりました。話をしながら着席をし、ふつう説明者は後ろから説明をするのですが、だんだん横並びになって紀子さまは親しげにお話をしてくれました。ご自分のお子様にも共有したいということ、当初の予定にはありませんでしたが、佳子さまも呼んでいただきました。紀子さまは佳子ちゃんも行くかと誘ってくれたそうです。自分のお子様にも見せたいという気持ちが強かったというなかで、「佳子ちゃんね、あそこにいる人たちはこういう人たちですよ」「あれがお茶の水大学のサークルを教えている先生ですよ」と説明する姿が普通のお母さんのようでした。私も「佳子ちゃん」と呼んだら「はい」と返事をしてくれて、非常に良い感じで、開けた皇族を見



せていただいたという感じでした。

細田 続いて、コンサートの運営スタッフが一番大切にしていることは何ですか。

松浦 スタッフ、出演者は一人ひとり面接をしています。代表者と1時間2時間話をしたうえで、本当に理解してもらわない限り絶対に出てもらわないんです。全くお金が動かない組織なのでお金は払うことも受け取ることもありません。一番気にしているのは、障害者の人たちが一番喜ぶのは何なのか。家族が本当に喜ぶことは何なのか。本音の意味で、大きなものづくりは大きな人たちに任せればよい、私たちは「小さな本物を作っていくこと」がこの会の趣旨です。音楽を奏でる人、踊る人、そういう「演者である前にあなたはどんな人」ということを大切に全員で構築してきたグループです。家族と障害者に接するときは、障害者扱いをしないでいられる人格になってお迎えする。私たちでいうと「美容師である前にどんな人か」が問われます。正確なカットしてくれるからあのお店が良いよと紹介してくれるのではなく、どんな人なのかというところで人は人を紹介してくれる。自分

がどんな気持ちで今日を迎えるのかというところから人間構築が始まるのです。

細田 今期もドレミファダンスをキャビネットが後援しています。企画・内容についてキャビネット側は後援という考えでその体制について事前に意見交換はされたのですか。

松浦 今回で15回目になり、毎回キャビネットが後援をしてくれています。一クラブがキャビネットとつながるといことが目的です。キャビネットが我々に何かしてくれるというところは一切求めてはならないというのがキャビネットとクラブの一つのルールだと思っています。今回も伊賀ガバナールと話した時にキャビネットは支援側に戻るということで決まりました。今までと違うことはただ一つ。ドレミファダンスを200クラブの皆さんに知ってもらうために、ガバナール公式訪問で一人一人のテーブルにパンフレットを配り、そのパンフレットに対してガバナールがきちんと説明するという最高の応援を約束してくれました。プロジェクトという言葉を使うのに最もふさわしい事業であって、プロジェクトはキャビネットの一つの提案であり、ガバナールの力を借りて伝えることとお誘い、説明が非常に楽になるということでしょう。

細田 現在、2回開催されていますが、今後の展望などはありますか。

松浦 今では、東京23区長が応援に入っていて、パンフレットには23区の全区長のお顔とコメントが載るようになりました。そして、都知事、皇族と、いろいろな人たちがお見え

になってくれますが、これからは23区長とのお話の中で、区単位のと、区単位の物に、ライオンズ並びにドレミファダンスのメンバーがどこまで力を出しきるかです。そして東京全体、その次は各地区、各県です。今様々なお話を頂いています。

これからの課題ですが、各県、LCで言えば各地区にドレミファダンスのチームを作っていく。そこでドレミファダンスを繰り広げ、日本中にドレミファダンスを広げていく。LCが協力し合えば実現します。特に、LCとは何ですか？と聞かれたときに「LCといえればよさこいだね」とか、LCは何をやっているのというときに、「障害者を本当に支援している組織だから、ライオンズに入っているいる学んだほうが良いよ」と言えるようになるのいいと思います。そして、日本全体が障害者を法で区別差別しないということではなく、本当に障害者のことを考えられるようにしていきたいというのが私の考えです。330Aが始まりましたので、次は330B地区（神奈川県・山梨県）や330C地区（埼玉県）でやっていきたいと思っています。

細田 ありがとうございます。

松浦 ありがとうございます。最後の質問に関連して、14回おやりになっていて、立ち上げてから今までのようなご苦労がありましたか？例えば330B、Cでやるうと思つた時のやり方を教えて頂けますか。

松浦 まず、場所をどのようにつけていくのか。あとはどのくらいの規模でやっていくのか。500人なのか、2500人なのか。たとえれば収容数2500人の渋谷公会堂に

3000人来て500人が入れなかったということもあった。座れないようなものに招待するものすごく怒られました。それを、東京都に相談し、東京体育館をお借りすることになりました。10,000人入る会場ですが、借りるまでには東京都に優先順位を上げてもらう大変さがありました。本当にお金が動いてないこと、名前を売るためではなく、本当に障害者のことを考えていく組織だと分かってもらうために、一人一人に真心込めて話してきました。今回様々な苦労を味わいましたが、これからはライオンズメンバーが協力して、たくさん来てくれることを望んでいます。

松浦 ニーズはゼロですね。一人もいません。初めに集まってくれた時に「ただ踊ってくればよい」と言います。「私は障害者のことをやりたいけれども、あなたたちはボランティアなので一切考えなくてよいです」と伝えます。それを、障害者の方がどう受け取るかは自由です。演後に「こんなに喜んでいたら」と伝えます。演歌歌手を呼んでこんなうけないだろうと思っていたら「演歌歌手が良かった」と感想があったり、100人で白鳥の湖を躍らせるというバカげたことをやったりもしましたが、お母さま方からは評判が良かった。「この子と一緒にバレエを観られるなんて、とても感動しました」とお手紙を頂きました。それを見てみんなで泣くんです。やって良

かったと。でも、同じことをすると障害者の人たちは飽きてくるんです。たとえば「こんなお土産はいらない」とか「あんな演目はつまらない」と言います。そして回を重ね、「僕たちもあの舞台に立ちたい」という子が出てきました。一人二人から始まり、今では50人のチームになるまでになりました。それがドレミファダンスメンバーです。

※ 5周年で披露されましたね。

L松浦 そうです。私たちは彼らが健康でいるうちに何でもしてあげよう、出たくない人も出れば元気になるのを出してあげようと思っています。毎週土曜日にドレミファダンスの小さなものをやっています。何十人も来ます。雨でも出迎えています。彼らは我々が考えているよりも物事を好きになる心が純粹だし、我々に対しても考えているよりもずっと感謝してくれています。それが、一番わかるのが、コンサートが終わった時にこのパンフレットをみんな大事に持って帰り、次のコンサートまでにポロポロになるまで読み、自分がどこに映っているかを確認し、半年間を待つわけです。そうすると良いもの、心に残るものを作らなくてはいけないなと思います。L細田、L飯田が作ってくれるわけです。私は、保護司をやっていますので、このパンフレットにもあるように法務省も巻き込んでいます。法務省が入るということは今までなかったことです。それと、全国障害者交通安全運動というものを立ち上げました。これも日本にはありませんでした。見たことのないものを見せたい、経験したことの無いことを経験させたい、今ま

でにないものを創り出すということ。初めてのものには感動があつて、彼らにとつて初めてのものを、我々が編み出さなくてはいけないことが一番大変なところですよ。

※ LCはアクティビティをやりっぱなしで、参加した人に感想を聞かないでスタッフ側が満足しているケースが多いように感じますが、今の話だと、手紙が来たりするそうですが、自主的に書いてくれるのですか。

L松浦 こちらから感想を書いてくださいということは一度もありません。家族の方、施設の方、本人たちの気持ちを正直に手紙にしてくれているのが今の状況です。ライオンズは各クラブが色々なことをやっています。それが良い悪いではなく、1917年にメルビンジョーンズが言ったことを守れば繁栄するはずですよ。「私たちは世の中のためにやっこう」これを実践しているクラブは良いわけです。飲み会が優先すればボランティアは隠れていきます。隠さないためには、褒め合うだけの拍手をしたり大きなことをするのはなく、各クラブの「小さな本物作り」にあると思っています。「一方通行の喜びではなく、返ってきます」LCの人たちには一回障害者の人たちに触れ合つて頂きたい。そして抱きしめてあげてほしい。ベッドのまま上を向いているだけの人もいます。私たちはそのような人たちのために考え、天井に風船を飾ります。風が吹いて動くのを見て、寝てる子は喜ぶんですね。それを見て、今までそんなことをしてくれる人はいなかったと言つて親は泣いています。私たちは何時間もそのようなことを考えます。

どんな障害を持つている人に対しても差別しません。知的障害者も、精神障害者も、重度の身体障害者も参加します。でも、誰一人自分が障害者だと思つていない人はいません。健全者が障害者という言葉の中に追い込んで、区別差別をしながら今までできたわけです。本当に障害者扱いしないならばすべての障害者が参加できる必要があります。お国がやっている障害者何とか協会とか、みんな分けてやつてしまふのはあまり良いことではありません。私は区別差別しないということは、そういうところからやつていかなければいけないと思います。

※ 来年の今頃のオリンピックパラリンピック、特にパラリンピックの閉会式などでダンサーの皆さんが出演するということがあるような気がするのですが、オファーはあるのでしょうか。

L松浦 東京都の一番手でオファーがありました。「パラリンピックが終わつても続けられるイベントを探している」と。うちがやっていることの中でも、何かしてもらえないかという時に、障害者のよさこいをやろうと提案しました。東京都にはたくさんさんの応募があり、大手企業、プロ



の集団が全国から集まりました。我々は一民間団体で負けてしまふのです。そこで選ばれた人たちは私たちから見ても素晴らしい人たちです。そこにえこひいきとかはないと改めて感じました。オリンピックパラリンピックに対して2020をフレフレと読み、原宿の道路を「フレフレオリパラアベニュー」と名付け、そこで障害者だけのパレードをやるうと今でも計画しています。なので閉会式には出られませんが、いまでもオファーは来ます。実現するかどうかは、同じようなことを考えている人はたくさんいますから。

本当はそういう人たちが力を合わせてやればよいのでしようけど、本当のボランティアの人は少ないのです。東京都がやっている善意銀行にお金の寄付を出す人もいます。招待寄付と言つて障害者を招待する寄付もあります。それがドレミファダンスです。そういうところでも、人数の制限がされたりします。東京都に100万人の障害者ファミリイがいるとして、東京体育館で1万人入つたとしても1%しかできないのです。パーフェクトにやろうとどんなに力を尽くしても1%しかできません。

それを今回ライオンズの力を借りて何%まで行けるか、10月20日はそのスタートになるんですね。ライオンズメンバーみんなが、「よし行こう」と言つてくれたらそれがLCです。私はそういう組織を作りたい。参加者が当日「小さな本物づくり」を探してくれば良いなと思いますね。

※委員会からの質問事項

あしなが育英会教育事業 5/26

8R1Z 東京豊新 LC

5月26日あしながレインボーハウスにて、あしなが育英会の関係の小学生を対象に、ホスピタルクラウンとして活動されていらっしゃるクラウンKをお招きし、楽しい芸と公演をしていただきました。会場には終始笑い声が絶えない楽しい会

となりました。会の最後には、全員でバルーンアートに挑戦し、大人と子供と一緒に試行錯誤しながら、犬と花を作りました。

東京豊新 LC L 鈴木 桂司



ホテル鑑賞の夕べ 6/8

13R2Z 東京清瀬 LC

市内の約 2,000 m² の清瀬緑地公園に 1989 年より、あちこちの川から蛍の餌となるカワニナを採取して育て、蛍の幼虫を放し、市報にて「2019 年 6 月 8 日 (土) ホテル鑑賞の夕べ」をお知らせをし、現在に至っております。6 月中旬には幻想的な夜が楽しめます。

市民の皆様や近隣の市より家族連れで、3,000 名以上の方々がお見えになります。メンバー、家族会員、田無 LC、湧水 LC のメンバーも出席して下さり、楽しい夜の一時を過ごしました。

東京清瀬 LC 幹事 L 笹川 邦子



第 1 回江戸川ボッチャ大会 6/9

5 リジョン・ゾーン合同



6 月 9 日 (日)、江戸川区の鹿本学園体育館で、第 1 回ボッチャ大会が開催されました。参加選手は 55 名、14 チームで行われました。運営には江戸川区福祉課、葛飾区ボッチャ協会などに審判の手配など、大変お世話

になりました。白熱した試合に思わず歓声が上がることが多く、大変盛り上がりました。ガバナーチームも参加して、充実した一日となりました。

5R2Z 東京江戸川東 LC L 茅島 純一



● 奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介致します。魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

沖縄県石垣島マングローブ植樹 6/20

14R1Z 東京八王子いちよう LC



た湿地に関する条約である。正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」というが、採択の地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれている。植樹には、八重山LC、沖縄ピースLC、東京八王子いちようLCの3クラブ、

2019年6月20日(木)沖縄県石垣市名蔵湾東小屋パーキング付近海岸に於いて337複合地区ガバナー協議会 議長、ガバナー協議会議長連絡会 代表世話人であるライオンズクラブ国際協会337-D地区元地区ガバナー 識名ライオン(八重山LC所属)を中心に、ライオンズクラブ国際協会337-D地区沖縄R3Z八重山ライオンズクラブ様のご協力の元、マングローブの植樹を実施した。名蔵湾は、石垣島最大の湾でラムサール条約で保護されている。ラムサール条約とは1971年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択され

総勢25名が参加し約200本の苗木を植樹した。八重山LC環境保全委員会 委員長 L 崎浜氏よりマングローブについて詳しいご説明をいただいた。マングローブとは、ヒルギ類(ヤエヤマヒルギ、メヒルギ、オヒルギ)などのことをいい汽水域に生息する植物の総称である。マングローブの種子は、胎生種子といい、樹木についてそのままの状態でも果実の中の種子が発芽するという特徴を持つ。種子は、10~20cmの棒状に成長し樹木から落下し生育の条件に合う場所に漂着すると根や葉をだすとのこと。また、植樹を行っても台風などの影響によりそのほとんどが



流されてしまうため、環境保全の為に定期的な植樹と流されない様にする工夫が必要であると話していた。植樹後には、南の美ら花 ホテルミヤヒラに於いて、八重山LC様のパトントッチ例会が開催され、例会には、沖縄ピースLC、茨木ハーモニーLC、茨木ローズLC、摂津LC、東京八王子いちようLC、計5クラブが参加し盛大に執り行われ幕を閉じた。植樹を行った苗の成長が楽しみである。石垣島を訪れ苗の成長を見守りたい。

レポート:東京八王子いちよう LC

マーケティング・コミュニケーション・IT委員会副委員長 L 根岸 雅也

第33回 関東身体障がい者水泳選手権大会 協賛 6/30

9R2Z 東京ウエスト LC



2019年6月30日(日曜日)千葉県国際総合水泳場に於いて第33回 関東身体障がい者水泳選手権大会が開催された。東京ウエストライオンズクラブは、2002年から17年に渡り協賛しており、優勝選手へメダルの授与を続けている。関東一円から集まった障がい者アスリートたちは朝早くから練習プールで入念にアップし試合に臨んだ。2020東京オリンピック・パラリンピックまで約1年、選手のモチベーションは高

い状態でまた、日頃の練習成果も発揮されて各種目で大会新記録が続出した。選手の真摯に競技と向き合う姿は輝き、人々を惹きつけ、観客席からの声援、拍手が沸き上がりまた競技を支える裏方、学生ボランティアのキビキビした動きと、まさに皆で作っている大会だった。参加者選手数は、約200名。本大会の目的は、大会を通じて自己の有する能力に挑戦し、お互いの交流を深め、社会へ参加する意欲を換気するとともに障がい者の

スポーツ振興を図り、広くボランティアや応援の参加を呼びかけ、障がい者への理解を深めるため開催されている。なお、協賛の経緯は2015年9月のライオン誌に掲載済み。

https://www.thelion-mag.jp/emag/201509/index_h5.html#10

レポート:マーケティング・コミュニケーション・IT委員会

副委員長 L 赤尾 嘉晃

PDF 大会写真レポートを是非ご覧ください。

中央区少年少女剣道大会 7/7

2R2Z 東京銀座 LC



毎年恒例の東京銀座ライオンズクラブ杯の剣道大会です。中央区の小中学生を対象として、小学生の団体戦部門と個人戦3部門（小学生3,4年生部門、小学生5,6年部門、中学生部門）の計4部門で、優勝杯を競う大会です。1位には優勝杯と金のメダル、2位は銀のメダル、3位は銅のメダルが用意され、東京銀座ライオンズクラブメンバーが優勝杯とメダ



ルを授与しました。総勢およそ160人の剣士が出演して、熱戦を展開しました。特に小学校低学年の豆剣士の試合には、保護者だけではなく、先輩のお兄さん剣士やお姉さん剣士も声援をおくって盛り上がりました。今年度は個人戦3部門とも少女剣士が優勝し、来年の少年剣士の奮闘が期待されます。

東京銀座 LC 監査 L石田 善計



夏季献血キャンペーン 7/13

12R2Z 東京町田クレイン LC

「夏季献血キャンペーン」（町田市献血推進協議会主催）に参加しました。当日は町田市長の挨拶から始まり、各団体と協力しあいティッシュとチラシを配りました。

また、メンバー数人が献血しました。夏季は献血者が減少する傾向にあります。不足する血液を確保するために「愛の血液助け合い運動」に取り組んでまいりました。

東京町田クレイン LC 幹事 L加藤 利彦



九州南部大雨水害復興支援募金 7/22

5R1Z 東京葛飾東 LC



去る7月22日（月）16時～20時にJR新小岩駅にて、「九州南部大雨水害復興支援募金」を実施致しました。

6月末から7月中旬にかけて鹿児島・宮崎の両県を中心に多くの被害が出ていることに鑑



み、激甚災害には指定されておらず、世間的な関心は低いとは思われましたが、困窮されている方を支援すべく実施に至りました。当日は小雨のparaつく空模様ながら多くの方にご協力を頂き、短時間ながらも266,520



円の浄財を集めることができました。近く、鹿児島県、宮崎県の両県の県庁を通じてドネーションを行います。

東京葛飾東 LC L野村 耕嗣

支部結成会を開催しました 7/22

12R2Z 東京町田クレイン LC



2019年7月東京町田クレイン LC 第2例会 (JR 四谷駅前 主婦会館) にて、零環創生支部の結成会を行いました。結成メンバーは12名となります。屋代誠一事務局長より目的と経過説明があり、小松恒敬支部会長より挨拶がありました。固定観念から脱皮した自由闊達な活動をすると表明がありました。結成



のお祝いに伊賀保夫ガバナー (330-A 地区) や FWT エリアリーダーの L 小川晶子からもお祝いの言葉を頂戴しました。ミラノ国際大会から帰国されたばかりとのことで大変お忙しいところありがとうございました。

東京町田クレイン LC 幹事 L 加藤 利彦



支部『魁 (さきがけ)』結成会を開催しました。 7/25

1R3Z 東京葵 LC

2019年7月25日 (木) ホテルグランドパレスに於いて東京葵 LC 支部魁 (さきがけ) の結成会を行いました。今期2番目の支部となり、結成メンバーは7名となります。福井清太支部連絡員より、結成計画書と支部内規の説明があり、初代会長 L 瀬戸口正之より『若い力で団結し、支部の会員増強、アクティビティへの積極的な取り組みに邁進する』との挨拶がありました。伊賀保夫ガバナー、GMT 会員増強・維持・エクステンション委員会委員長、L 小川晶子、キャビネット幹事 L 上野繁幸にご列席賜り、心強い応援のご挨拶を頂戴致しました。その後の第2例会では、新入会員3名を迎えての『入会式』が行われました。多忙中、引き続き上野幹事にご出席頂きました。当ク



ラブにとりまして、この日は厳かで晴れやかな門出として、記念すべき一日となりました。マーケティング・コミュニケーション・IT委員会委員

東京葵 LC L 中村 攻



川まつりで大いに活躍

7/27

13R2Z 東京清瀬 LC



毎年7月末頃の土曜日、清流柳瀬川沿いの台田公園で、清瀬市の川まつりが開催されま

す。20数軒のブースの一つに当クラブも参加し、毎年「焼きそば」を販売しています。

60×80cmの鉄板で、一回に20パック分、16回で計320パック。「We Serve」の精神で1パック200円で販売。「大変安い」と評判。10時半から2時間で完売。メンバー及び賛

助会員の協力で暑い中、汗をかきながら奮闘しました。若干の利益は当クラブの運営費に



使わせて頂きます。

13R1Z 東京清瀬 LC 幹事 L 山下 一男

第47回昭島市民くじら祭 8/3・4

13R1Z 東京昭島 LC

当クラブでは今年度は、電球ソーダ・くじ引き・ヨーヨー釣りの模擬店を出店致しました。例年になく多くの方々にお越し頂き大成功のうちに取りめる事が出来ました。

子供たちの多くの笑顔に触れる事が出来た事が最大の収穫でありました。

東京昭島 LC 広報委員長 L 高橋 英樹



東日本復興支援新宿京王プラザでゆったりランチ会

8/3・4

2R2Z 東京平成 LC

2010-2011年度河合ガバナー期の幹事団にて、毎年恒例で開催しております、福島を中心とした地区より都内に避難されているの方々をご招待して癒しをお届けする企画です。

今年は新宿地区5世帯16名、江戸川地区19世帯57名、八王子地区13世帯47名、合計37名120名の参加者が集まり、新宿京王プラザホテルにて、ランチ会を開催しました。

アトラクションとして、バルーンアートサービスやビンゴ大会などをおこない、参加者の方々の笑顔に包まれた会となりました。

東京平成 LC 事務局長 L 坪谷 茂



感謝状を頂く 8/16

13R2Z 東京清瀬 LC

当クラブ所有の「青色灯・防犯パトロール」カーです。

メンバー各人が警視総監発行の「パトロール実施者証」を持参し、週2時間程度、市内の小中学校の近辺及び住宅街を巡回して、常に安心・安全の街となるように努めております。今回、この功績により、警視庁より感謝状を頂きました。

東京清瀬 LC 理事 L 福嶋 章吾



ライオンズクエストワークショップ 8/19

12R2Z 東京町田クレイン LC



青少年オリンピックセンター研修棟にて、町田市教育委員会主催の1年目の小中学校先生を対象に行われた指導者育成研修(8/19～21開催)の初日、ライオンズクエストプログラムワークショップ(330-Aキャビネット主催)に参加しました。小林信光委員長(330-A 青少年健全育成・レオ・ライオンズ

クエスト委員会)より講師の紹介、伊賀保夫地区ガバナー(330-A)、今井文彦前地区ガバナー(330-A)よりご挨拶をいただいた後、先生方にライフスキルを理解していただくためにワークショップで学び体験していただきました。子供達の明るい未来のために講師のお話を熱心に傾聴し、実習する姿勢がとても

頼もしく感じました。

東京町田クレインライオンズクラブからは、小林会長、中山委員長、私の3名が参加しました。

東京町田クレイン LC 幹事 L 加藤 利彦

2019 未来へ～音楽で生まれる笑顔の輪～東日本大震災復興支援活動 8/25～26

東京蒼天 LC・東京八王子陵東 LC・東京尾張町 LC・東京新世紀 LC、四クラブ合同アクティビティ



25日 宮城県名取市ゆりあげ港朝市にて八王子富士森高校吹奏楽部 FWO80 人の生徒さん達と【未来へ～音楽で生まれる笑顔の輪～】と題して演奏会と、楽器体験会の開催をしました。夕方からの懇親会では、閑上地区

の現状をお話し頂き、今後の支援について何が必要か語り合いました。26日 2018年4月に開校した宮城県名取市閑上小中学校の始業式に昨年同様、八王子富士森高校吹奏楽部 FWO80 人の生徒さん達と【未来へ～音楽で

生まれる笑顔の輪～】と題して演奏会の開催をしました。演奏を通して皆さんの笑みがこぼれ、音楽の素晴らしさを実感しました。

東京蒼天 LC L 川島 富美子

多摩地区ライオンズクラブ交流会 パレスホテル立川 8/30

12 リジョン・13 リジョン・14 リジョン合同アクティビティ



日中はまだ暑い日が続く 8月30日にパレス立川「ローズルーム」にて、「多摩地区ライオンズクラブ交流会」が150名を超えるメンバーが集まり盛大に開催された。当会は幅広く多摩地区(12～14R)ライオンズクラブの交流を図り、ライオンズクラブの一層の発展に貢献することを目的として会である。当会会長 L 田野倉和己より会長挨拶、ご来賓の伊賀保夫ガバナーよりそれぞれ挨拶を頂いた。特別講演では菅谷信一様より「スマホ1

台で Line と YouTube で劇的に売り上げを伸ばす方法」と題して興味深い内容を語って頂き、参加メンバーはスマホ及びタブレットをそれぞれが手にし、「論より証拠」を目の当たりにした。講演後に伊賀ガバナーから「この講演を聴けて良かった」の一言が印象深かった。

懇親会の冒頭では八王子芸者衆による「夏の演舞」が披露され、中井第2副地区ガバナーの「we Serve」の発声後、各テーブルで親

睦が深められた。また「マリンバ・ピアノ・ヴォイオリン」の三重奏が披露され、心身ともに満足なひと時を過ごし、「また会う日まで」では会場一杯の大きな輪が形成され、盛会のうちに終了した。

東京三鷹 LC 幹事 L 坂本 純一

東京マリアライオンズクラブ結成 8/31

7R3Z 東京マリア LC



2019年8月31日(土) 東京ウィル LC (会長 L 新井清子) が東京マリア LC をエクステンション致しました。凛として尚清々しい40代50代の女性が80%。暖かい眼差しの男性メンバーが加わり

新しい息吹を感じる素晴らしいクラブです。次世代を見据え学生会員も2名おります。ウィルと同じ7R3Zに配属となりました。宜しくお願い致します。

FWT チーフ

330-A 地区 GMT 会員増強・維持・エクステンション委員会
委員長 L 小川 晶子

「九州北部豪雨災害 緊急支援募金活動」を行いました 西葛西駅 9/3

5R2Z 東京江戸川南 LC

東京から少しでも被災地への支援を！と伊賀ガバナー・進藤第一副地区ガバナー・中井第二副地区ガバナーをはじめ、多くの第5R第2Zと友好クラブのメンバーに御協力を頂きました。地元のサッカーチームの子ども達も今回も学校が終わってから一緒に声をあげてお手伝いいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。西葛西駅をご利用の方々等の温かい気持ちのお陰様で、518,654円というたくさんの募金をお預かり致しました。佐賀県武雄市のボランティアセンターで



被災された方々の手助けとして頑張っておられる【武雄ライオンズクラブ】に早々に送金しお役に立てて頂くことになっております。被災されてしまった皆様が一刻も早く平穏な



生活に戻ることを願うばかりです。御協力いただきました皆様、ありがとうございました。
東京江戸川南 LC 会長 L 伊勢崎 禎也

「過去最強台風 15 号被害」緊急支援募金活動を行いました 9/13

5R2Z 東京江戸川南 LC



甚大な被害を起こした過去最強台風 15 号。停電、断水、倒壊など大きな爪あとを残した台風が過ぎて 10 日以上たった今もまだ復旧の目処が経っていないくらい大きな被害を受けている千葉県。当クラブは 9 月 13

日（金）に地下鉄東西線の「西葛西駅前ロータリー広場」にて 今井前ガバナーをはじめ、5R2Z の各クラブのメンバー・他友好クラブのメンバー様と一緒に緊急支援募金活動を行いました。西葛西駅前を利用するの方々、この機会にと わざわざお越しいただいた地域の方々のお陰様で ¥856,853 円ものたくさんの募金をお預かり致しました。連休が明けた本日【南房総ライオンズクラブ様】へお振込みをし、早々に役立てていただくことになっております。被災された方々が一刻も早く日常生活に戻れるよう心よりお祈り申し



上げます。御協力していただいた皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。
東京江戸川南 LC 会長 L 伊勢崎 禎也

台風 15 号被害支援募金活動 9/22

7R2Z 東京けやき LC

第7リジョン第2ゾーン所属の当クラブにおきましては過日の台風 15 号による千葉県内の甚大な被害状況を受けてクラブ例会での議決により 9 月 22 日（日）午後、東武東上線成増駅南口ロータリー及び北口コンコースにおいて千葉県台風 15 号被害支援募金活動をメンバー 13 名の参加を得て実施致しました。今にも雨の降りだしそうな休日の夕刻でしたが多数の方々に募金のご協力をいただき、短時間で合計 ¥142,476 を集めることが出来ました。ご協力頂いた募金は、今もなお 3 千軒程の停電世帯が残る（9 月 22 日時点）千葉県の災害対策本部が開設しました「義援金」口座に近日中に振込み致します。被災された



ご家庭に「見舞金」として直接行き渡るのでとても有意義な募金活動を行うことが出来たと考えております。募金活動に参加されたメンバー、ご協力頂きました関係者に厚く御礼



申し上げます。
東京けやき LC 幹事 L 鈴木 雅章



ガバナー公式訪問 2019



【総括】

9月4日（水）伊賀保夫ガバナーの地元1
リジョンから2019・2020年度ガバ
ナー公式訪問が始り、およそ1カ月をかけ
全14リジョンすべての合同例会を訪問した。
合同例会の前には各クラブの会長・幹事と
の事前懇談会が行われ、合同例会第一部で
は式典、第二部では懇親会が行われた。

事前懇談会

伊賀保夫ガバナーはじめキャビネット幹事、
キャビネット事務局長、リジョン・チェア
パーソン、各クラブの会長・幹事が参加し
執り行われた。

事前懇談会では、リジョンやゾーン、クラ
ブの状況が報告され、また、課題などにつ
いても議論が行われた。

課題の中には「ライオンズクラブは社会に
対するPRが足りていない」などの課題も
上がった。

伊賀保夫ガバナーは、ライオンズクラブは、
ライオンズマンションでも野球チームでも
ない。

奉仕活動の輪を広げていくためには、まず、
ライオンズクラブの活動を身近な方に知っ
ていただく事が重要であると語った。

外部に発信して行く手段としては、SNS
（FacebookやLINE）、ホームページ
等あらゆる手段を使って発信していきたく
いと意気込みを見せた。

合同例会 第一部 式典

伊賀保夫ガバナーより今期の運営方針につ
いて、約30分におよぶプレゼンテーション
が行われた。

伊賀保夫ガバナーによるプレゼンテーショ
ンでは「今期テーマ「樺（たすき）をつなぐ」
についての説明から始まり、

GLT「指導力育成」、GMT（会員増強）、
GST（奉仕活動）、FWT（家族・女性）、
今期特に力を入れたいことについて説明が
行われた。



メンバーの満足度の向上を図り、寄付だけの奉仕活動だけではなく受益者の喜ぶ姿が見えるアクティビティなど、クラブ主催事業を中心にキャビネットとして支援していきたいと意気込みを語った。今期は特に外部発信の活性化として、社会にライオンズクラブ活動の魅力を伝えることを目的とし、ホームページのリニューアルやSNS（facebookやLINE）の活用に力を入れて行きたいと方針が示された。最後に伊賀保夫ガバナーから新入会員一人ひとりへのラペルピンの贈呈があり式典は閉会となった。

合同例会 第二部 懇親会

各リジョン毎に趣向を凝らした余興が執り行われ、穏やかなムードの中、会は進行した。9月8日～9日にかけて関東地方を通過した台風15号の影響で被災された地域に向け、義援金を集めるなどのアクティビティも同時に行われた。集められた義援金はキャビネットへ手渡された。

最後には伝統行事である、全員で手をつなぎ輪になり、「また会う日までを」歌い幕を閉じた。

『役員以外の一般メンバーの方が、ライオンズクラブの運営方針を聞く機会は、ガバナー公式訪問・合同例会以外ない。』

キャビネット主催によるアクティビティがどの様な目的で開催されているか知る良い機会になったのではないかと思います。

また、ライオンズクラブとは何か？ライオンズマンションでも野球チームでもない、奉仕団体であることを今期の運営方針でもある外部発信の活性化により、社会の方々に認知いただき、奉仕の輪を大きくしていきたいこと強く願う。』

マーケティング・コミュニケーション・委員会
副委員長 根岸雅也

台風 15 号の影響による千葉県の大規模停電被害について



今回の台風 15 号にて被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。台風 15 号の影響で起きた千葉県の大規模停電について、9 月 12 日の時点でまだに約 35 万戸の停電が続いている状況です。募金など迅速な対応を始めているクラブにおかれましては誠にありがとうございます。ライオンズクラブとしても奉仕活動を模索しているメンバーからキャビネットにお問い合わせをいただいておりますが、千葉レスキューライオンズクラブからの要請により、330-A 地区緊急アラート委員会が本日、要望事項を整理し、千葉に向かっております。また、被災地区であります 333-C 地区（千葉）と



連絡を取りながら情報収集を行っておりますが、9 月 12 日（木）付で愛の泉資金から 100 万円を先に拠出し、333-C 地区（千葉）宛に送金しました。また、ガバナー公式訪問で募金活動も実施させていただく予定です。尚、募金活動及びドネーション等で集められた募金につきましては、キャビネットでまとめて 333-C 地区の指定口座に送金いたしますので、下記口座へ送金をお願い申し上げます。

みずほ銀行 新宿西口支店 普通預金「4742443」

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区緊急対策・復興支援委員会
会計 阿部佳納子（アベカナコ）



皆さまにおかれましても、自然災害におきまして、「備え」を見直し、日頃よりご家庭でも話し合わせていただきますようお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
ガバナー 伊賀 保夫

第 2 回会員交流会 6 月 14 日（金）



GLT 青年アカデミー・アラート委員会による「第二回会員交流会」を執り行いました。今回はメインテーマとして、『「ハッピーなライオンズライフを送るための秘訣』としました。入会 5 年未満の退会者が多い現状をどの様に防ぐのかを、あくまでもポジティブな見解として、どの様にしたら「楽しめる」のか？を委員会で議論した結果、まさにハッピーなライオンズライフを送って



る代表格でもある、元ガバナーのお二人を講師に迎え、ライオンズの楽しみ方の基礎の基礎から話してもらおうという企画となりました。第一部として [元 330C 地区ガバナー L 濱野雅司 / 元 330C 地区ガバナー L 吉原稔貴] にライオンズの魅力を熱く語って頂きました。また、懇親会にも多くの方々に参加して頂き、各クラブ間での例会訪問をカードに書き込みあうという自然に交流する場を用意し、大変な盛り上がり



と成果がありました。

GLT 青年アカデミー・アラート委員会
副委員長 L 丸山 和博（東京荒川西 LC）

第15回青少年英語スピーチコンテストを開催

6月16日(日)



2019年6月16日(日)330-A地区YCE委員会主催の第15回青少年英語スピーチコンテストが京王プラザホテルで141名の聴衆が参加して開催されました。今井文彦ガバナーのご挨拶の後、注意事項の説明が行われ、その後、各出場者よりスピーチが行われました。スピーチコンテスト出場者は16名。テーマは「日本の素晴らしさ」「学生の社会貢献について」「日本が世界に貢献できること」の中から選び、発表時間は5分間。330複合地区YCE委員会委員長・



河合悦子元地区ガバナーが審査委員長を務めました。審査の結果、東京都知事賞(副賞:YCE交換学生として2020年夏にアメリカカリフォルニア州へ派遣)に都立深川高等学校2年菅田真未さん、地区ガバナー賞(副賞:フィリピンセブ島における語学研修参加権)に都立小石川中等教育学校1年吉田幸生さん、複合地区YCE委員長賞(副賞:YCE交換学生として2020年春にタイへ派遣)に東邦大学付属東邦高等学校1年上田千洋さん、東京新都心ライオンズクラ



ブ会長賞には敬愛学園高等学校3年長門航さん、YCE委員長賞に都立富士高等学校2年横山舞さん、会場賞に鹿島学園高等学校2年落合愛友海さんがそれぞれ選ばれました。来賓の衆議院議員・石原宏高様(東京五反田ライオンズメンバー)のご挨拶、河合審査委員長の総評が行われ、発表者全員による記念撮影が行われ、盛会のうちに終了しました。

YCE委員会 委員長 L高木千明

次期キャビネット構成員準備会 6月21日(金)



6月21日(金)13時30分より東京都赤十字血液センター4階会議室において、次期キャビネット構成員準備会を開催しました。今井文彦ガバナーのご挨拶の後、伊賀保夫ガバナーエレクトによるガバナー方針及び地区キャビネット



運営について説明があり、続いて上野繁幸次期キャビネット幹事予定者から次期行事予定及びクラブ運営関係について、阿部かな子次期キャビネット会計予定者よりクラブ会計関係について、次期三役セミナーで行われた内容の共有化

が図られました。

休憩をはさみ、会員拡大について小川晶子会員増強・維持・エクステンション委員会・委員長予定者から、LCIFについて伊賀則夫LCIFキャンペーン100地区コーディネーター予定者から、地区法人化について池田和司法人化推進委員会・委員長予定者から次期に向けた意気込みが話されました。次期キャビネット幹事団も含めて97名が参加し、次期に向けて気持ちも新たなキックオフとなりました。

次期キャビネット事務局長予定者 L高木千明

「思いやりベンチ」のペンキ塗りおよび高尾山環境保全基金協力会総会 6月25日(日)



令和元年6月25日(火)、前日の豪雨が嘘のような好天に恵まれ高尾山環境保全基金協力会(L石井征二会長)と330Aキャビネットの環境保全委員会(完山一範委員長)が合同で高尾山の環境保全アクティビティを行いました。GST環境保全委員会メンバーおよび協力者は9時15



分に清滝駅前に集合、登山道を歩いて登りながら6年前に設置した休憩用イスの清掃とペンキ塗りを、環境保全基金協力会は、第9回の総会に約70名が出席し事業報告、事業計画を討論。次回の第10回に向かってさらなる飛躍と充実はかろうと意欲満々のうちに終了しました。



GST環境保全委員会 委員長 L完山一範

2018～19年度YCE夏期来日生キャンプを開催 7月21日(日)～27日(土) YCE委員会



2019年7月21日(日)～27日(土)の6日間、東京都新宿区にあります東京ビジネスホテルを宿泊先として330 複合地区YCE委員会主催、330-A 地区 YCE 委員会主管のYCE 夏期来日生キャンプが開催されました。330 複合地区には、アメリカ合衆国、ヨーロッパなど17名の学生が来日しています。キャンプ期間中は、書道や太鼓、食品サンプルづくり、風鈴絵付け、そば打ちなどを体験しました。最終日である27日(土)に開催



されましたフェアウェルパーティには、今井複合地区ガバナー協議会前議長・A地区前ガバナーをはじめとして、伊賀ガバナー、進藤第1副地区ガバナー、B・C各地区の前地区ガバナー・ガバナー・第1副地区ガバナー、河合複合地区YCE委員会・前委員長、ホストファミリー関係者、委員会関係者など、総勢106名が参加し、来日生の来訪を歓迎しました。それぞれの地区ごとにガバナーからの記念品の贈呈やホストクラブ・ホストファ



ミリーの紹介が行われました。来日生全員で行うアトラクションでは、1人1人からキャンプの感想と全員での歌が披露され、盛会のうちに終了しました。各来日生は、名残惜しくお別れをしつつ、それぞれのホストファミリーに引き取られて第2ホストファミリー宅での滞在生活がスタートしました。2018-2019年度YCE委員会委員長 L高木千明

330-A 地区 第1回キャビネット会議参加レポート 8月5日 東京プリンスホテル



猛暑の中8月5日(月)東京プリンスホテルにて330-A地区 第1回キャビネット会議は開催されました。キャビネット構成員及び非構成員を合わせて342名が出席。会議は、今年度国内史上最年少(42才)で就任した伊賀保夫ガバナーの挨拶で始まり、まず、今年度「櫻(たすき)をつなぐ」を地区ガバナーズテーマとした上で大きな変革ではなく小さな変革の積み重ねで1年を経た時に変革を実感したい、そして次代につなげたいとの抱負が語られました。具体的には

- 1、メンバーの満足度の向上→「感動・感激」の奉仕活動へ
- 2、「団結の力」による社会奉仕の最大化
- 3、世界を見据えて(世界中のライオンズクラブが憧れる330-A(東京)地区を目指す)

とした上で、

- 退会者を防止するには→現在入会者年間600～700人いるが退会者もほぼ同数おり今までのやり方を変えていきたい。そのうえで現在約6,000人の会員数を7,000人まで増やしたい。そのためには入会者を対象に合同オリエンテーションを実施して横の軸をもっと強化していく。
- FWTの活動
女性会員の増強→女性会員が会員増強のキーになっていく。
- LCIF 創立50周年キャンペーン
全てのクラブに100ドルキャンペーンをお願いしたい。
- キャビネット委員会に運営改革室・事業企画室を新設しクラブ主体のアクティビティを支えていきキャビネット委員会主体からクラブ主体に変えていきたい。
- SNSの活用をもっと活発にしたい。
等の抱負が語られました。その後各議題がキャビネット構成員の挙手により決定。次に今年度のキャビネット会議提出案件として

- 1) 330-A 地区キャビネット社団法人化について
 - 2) YCE 地区委員会からのお知らせが報告されました。
- そして待ちに待った懇親会へと移行。L石井の乾杯の発声により盛大な宴は開かれました。ギランバレー症候群から奇跡的に復活した女性による車椅子ダンスはとても躍動感溢れる感動的な幕開けでした。円卓を囲んで美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気のもと盛大に宴会はお開きとなりました。それにしても本大会で祝辞を賜りましたL山浦、L今井、L進藤、L中井乾杯の音頭のL石井諸先輩方の挨拶が簡潔で時間に無駄が無く会議と懇親会はこのようにあるべきだと思った次第です。
- マーケティング・コミュニケーション・IT委員会
L茂岡 幹弥



原宿表参道元氣祭スーパーよさこい 8月24・25日 330-A地区2019-2020年度プロジェクト



8月24日(土)25日(日)に原宿表参道全体を会場とする80万人動員の『原宿表参道元氣祭スーパーよさこい』が開催され、「ライオンズクラブよさこいチーム」が出演しました。前期よりL伊賀保夫ガバナーからの依頼で、L松浦辰吉プロジェクトリーダーのもと始動した広報活動のプロジェクトです。ライオンズカラーである金と紫の衣装、3枚の大旗、そしてライオンズ精神を口上に取り入れ、今期のガバナーズテーマである「絆をつなぐ」をテーマに

演舞し、ライオンズクラブを大いにPRしました。演舞前には舞台上でライオンズローアを、L松浦リーダーとともに伊賀ガバナーの合図で行いました。演舞中盤、踊り子が一斉にライオンズ旗をパツと出した瞬間、「おおおお！」と、一般観覧者からも大きな歓声が上がりました。初参加のメンバーからは「参加して初めてこのイベントの大きさを知った」「観客も踊り子も笑顔になれる感動のアクティビティに参加でき、最高の思い出となった」「当日のチームの一体感、そして街全体の一体感が素晴らしかった」等仲間とともに汗を流して練習し迎えた当日だからこそその充実感が何えました。「ライオンズメンバーが笑顔で演舞している姿に力もらった」と、観覧にきたメンバーからも感動の声が聞こえました。二日間にわたり、多くの観客にライオンズクラブを知って頂く機会となり、プロジェクト第一弾は成功裏に終わりました。そして、本プロジェクトは10月20日(日)駒沢オリンピック公園総合運動場内の体育館にて開催される『第15回東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪』へ続きます。第15回東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪ダンスと音楽で心から喜んでもらうオールボランティアによる障害者支援活動です。

こちらませひご参加ください。
マーケティング・コミュニケーション・IT委員会
委員 L細田 未央



第1回クラブ会長会 8月27日 東京都赤十字血液センター4階会議室



8月27日(火)14時より東京都赤十字血液センター4階会議室において、第1回クラブ会長会を開催し、各クラブ会長または代理者144名、その他キャビネット関係者42名、合計186名が参加しました。伊賀保夫ガバナー、進藤義夫第1副地区ガバナー、中井正力第2副地区ガバナーのご挨拶の後、

伊賀ガバナーから今期の地区運営方針について説明があり、続いて会員増強について小川晶子会員増強・維持・エクステンション委員会・委員長から、LCIFについて330-B地区櫻井貴裕LCIFキャンペーン100地区コーディネーター及び伊賀則夫LCIFキャンペーン100地区コーディネーターからそれぞれ、

今期の目標と進め方についての説明がありました。また、法人化推進について池田和司法人化推進委員会・委員長から検討の経緯とこれまでの主な質問に対するQ&Aが説明され、活発な質疑応答がなされました。

キャビネット事務局長 L高木 千明

2018-19年度 YCE 派遣生帰国報告会を開催 9月8日 AP 西新宿



9月8日(日)14時よりAP西新宿においてYCE派遣生帰国報告会を開催しました。冬期マレーシアへの派遣生1名、春期タイへの派遣生3名、夏期アメリカ合衆国・カリフォルニア州への派遣生6名、合計10名の派遣生が参加しました。今井2018-2019年度ガバナーと伊賀2019-2020年度ガバナーからそれぞれ挨拶をいただき、その後、各派遣生からパワーポイントを使って派遣の感想や派遣で得たものなどの発表を行いました。派遣生の皆さんからはライオンズクラブに対する多くの感謝が述べられました。全員

の発表後に進藤2019-2020年度第一副地区ガバナーと河合2018-2019年度複合地区・YCE委員会委員長から感想や総括があり、派遣生全員による記念撮影が行われ、盛会のうちに終了しました。

2018-2019年度YCE委員会

委員長 L高木 千明



キッズフェスタ in 大井競馬場 9月14日



9月14日 日曜日 大井競馬場第一駐車場に於いてクラブアクティビティサポート「キッズフェスタin大井競馬場 子供たちの未来を創るイベント」が開催された。
MOTTAINAIキッズフリーマーケットでは、こどもたちにお金の大切さとモッタйнаイという考え方を伝えコミュニケーション力を育む。
0から1へ! 誰でも楽しく運動ができるようになる運動教室では、運動指導の専門家が指導を行なった。
パラリンピック競技を知ろう!ではパラリンピック2020開催を目前に、選手に来ていただき、こどもたちに競技内容を知って体験してもらう場を設けた。当日はあいにくの曇り空であったが、子供たちとライオンズメンバーが元気と笑顔を共有できた秋の一日であった。



LCIF Report

2019年～2020年 LCIF がスタートしました



LCIF キャンペーン 100
地区コーディネーター

L 伊賀 則夫

ライオンズクラブは、「世界最大の奉仕団体である」ということをご存知の方は多くいらっしゃると思いますが、何をもち世界最大という言葉が使えるのでしょうか？前回のオリンピックはリオデジャネイロでしたが、参加した国と地域は 206 でした。ライオンズクラブへの加盟国と地域数は 212 なのです。しかも会員数が 143 万人と他の団体をはるかに超えているからなのです。

奉仕には、額に汗を掻きながらする「労力奉仕」と、貧困・病気・災害等々で困っている人達を助ける「金銭奉仕」の 2 つがあるのですが、今年で創設 102 年を迎えたライオンズクラブは 52 年前に、創設 50 周年を記念して LCIF、(ライオンズクラブ国際財団) を立ち上げました。いまでこそ、国際的にもいろいろな NGO の組織がありますが、イギリスの経済誌フィナンシャルタイムスは、ライオンズクラブ国際財団が「世界最高の非政府組織 (NGO) に格付けしました」確認も含めて改めて申し上げますが、

『ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) とは?』

ライオンズクラブ国際財団は (LCIF) は、ライオンズクラブ国際協会公認の慈善団体組織です。LCIF の資金は、ライオンズクラブが実施する事業を支援するために、交付金という形で提供されています。これらの交付金は、個々のクラブや地区の資金拠出だけでは規模が大きすぎる人道活動において、143 万人の世界中のライオンズクラブ会員に助力します。

そして人道奉仕の使命は、ライオンズクラブ国際協会の中枢です。LCIF の交付金は、5 つの分野における奉仕を支援しています。財団の主な慈善対策は、以下の通りです

★視力保護 ★身障者支援 ★青少年育成 ★災害救済の提供

もう 1 度申し上げますが、LCIF の寄付金は全て (100%) 支援を必要とする人々や場所に利用されます。

財団の運営費は全て、「投資利益」によって支払われているのです。

今期 (2019 年～2020 年度) の LCIF 委員長は、東京綾瀬ライオンズクラブの大森光徳 L です。LCIF キャンペーン 100 地区副コーディネーターは、東京紀尾井町ライオンズクラブの宮本志づ子 L です。私たち 3 人が交代でガバナー公式訪問に出席させていただき、ガバナーのご挨拶の後、MJF (1,000 ドル献金) とクラブメンバー数 × 100 ドル献金 (キャンペーン 100) の必要性をお話しさせていただき、皆様にご支援をお願いしたこと (5 リジョンが 10 月 16 日のため、5 リジョン以外) が功を奏したようで、

昨年までの集まり具合と比べ、順調に集まり始めていることに深く感謝を申し上げます。

更に、今期 (7 月～6 月) までに、LCIF チャリティー麻雀大会を開催しています。この大会への参加費は、お 1 人 1 万円なのですが、50 ドルはチャリティー代として、参加者のお名前前で LCIF に寄付させていただき、差額分がゲーム代金、賞品代になるのです。開催回数を 10 回と決めていますので、10 回の参加者は 500 ドルの献金をしたこととなります。更に、ライオンズメンバー以外の人 (お友関係者) をお連れくださると、その方の分もお連れくださった方のお名前前で献金をされたこととなります。『11 月のみ第 5 ですが、基本は毎月第 4 土曜日に開催されます』ので、是非多くの方々のご参加をお願い致します。(お金は賭けません。点数を争って、グランプリを決めるのもです)

キャンペーン 100 は、昨期・今期・来期の 3 年間プランですが、以下は昨期の達成クラブです。

(達成条件: 正会員 (家族会員と支部会員を除く) が \$5 以上寄付人数・会員種別は、送金月のサバナ登録状況より確認)

東京紀尾井町・東京ピース・東京葵・東京堀留・東京晴海・東京数寄屋橋・東京並木通・東京みやこ・東京新橋・東京赤坂・東京神宮・東京ヒルズ・東京江東・東京江東南・東京葛飾・東京亀有・東京葛飾東・東京綾瀬・東京江戸川南・東京江戸川中央・東京江戸川東・東京上野南・東京鶯谷・東京赤羽・東京志村・東京光が丘・東京ウィル・東京駒込・東京豊島西・東京豊新・東京サンシャイン・東京文京・東京巣鴨・東京セイシン・東京ウエスト・東京渋谷・東京世田谷・東京田園調布・東京玉川・東京さぎそう・東京新宿・東京新都心・東京中野・東京新宿東・東京武蔵野・東京調布・東京三鷹・東京稲城多摩・東京田無・東京八王子いちょうの 50 クラブです。

(各クラブからキャビネットへの報告に基づき作成)

■ 330-A 地区 10 月 10 日現在での MJF の現況

- 累計金額：14,683,400 円
- 口 数：302 口
- 献金者数：153 名

LCIF 献金について
献金の方法、申請書ダウンロードはこちら



330-A 地区 10 月 10 日現在での \$100 の現況

- 累計金額：2,186,500 円
- 献金クラブ数：11 クラブ

リードギフト誓約者



L 伊賀保夫
(東京ピース LC)



L 山浦晟暉
(東京新宿 LC)



メジャーギフト誓約者 リジョン・ゾーン順



L 山田春雄
(東京銀座 LC)



L 大石誠
(東京数寄屋橋 LC)



L 村木秀之
(東京数寄屋橋 LC)



L 阿久津隆文
(東京赤坂 LC)



L 今井文彦
(東京巣鴨 LC)



L 宇田川直子
(東京中野 LC)



L 田中淳正
(東京中野 LC)



L 加藤邦広
(東京横田 LC)



L 石井征二
(東京八王子陵東 LC)



今年もそろそろ紅葉狩のシーズン。由緒ある日本庭園や名刹で優雅に楽しむの良いが、日ごろその存在にすら気付かない街路樹が一斉に色づき、別世界のような美しさに思わずハッとする瞬間もまた乙なものである。

濃淡異なる赤、褐色、だいだい、黄、緑が混ざり合う様は、しばしば錦やじゅうたんにも例えられる。

我らがLCも、さまざまな国籍、民族、性別、属性のメンバーがまとまって、彩り（個性）豊かで、丈夫な（結束力のある）織物（組織）であり続けたいものである。

そのような思いで目を向けると、重なり合うもみじの葉の一枚一枚が、まるでメンバー一人ひとりの手のようにも見えてくるから不思議である。

L 荒牧知子

主要行事予定

《2019年》11月7日(木)～10日(日)	第58回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム	広島県広島市
11月18日(月)	第2回キャビネット会議	AP西新宿(予定)
《2020年》1月(予定)	英国ロイヤルバレエの輝きプロジェクト(仮)	
1月27日(月)	臨時第1回キャビネット会議	東京プリンスホテル
3月16日(月)	第3回キャビネット会議	パレスホテル立川
4月25日(土)	第66回年次大会	東京プリンスホテル
6月6日(月)	第4回キャビネット会議	東京プリンスホテル

編集後記

スウェーデンの16歳の活動家、グレタ・トゥーンベリ氏が国連の温暖化対策サミットで演説を行った。彼女は世界のリーダーに対し、「私たちの世代が、何千億トンもの二酸化炭素を今は存在すらしない技術で吸収することをあてにしている」と痛烈に批判した。

グレタ氏は2018年8月から学校をストライキして国会議事堂の前に座り込み、一人で温暖化対策を訴え続けた。当時15歳の少女の活動はSNSを通じて世界中に拡散し、共感した若者たちのデモはこの9月には世界150か国400万人の規模へと拡大した。

さて、温暖化対策への行動が、かつてないほど注目されてきている中、私たちライオンズクラブはどのように行動すべきか。例えば、我が地区のキャビネット会議では、毎回、大量の紙資料を配布する。紙1トンあたりのCO2排出量は大量で原材料調達段階で600～800Kg、生産段階で700～1200Kg(日本製紙連合会調べ)。ライオンズクラブが若い世代の会員増強を狙うのであれば、まずは、その若い世代へ膨大な負担を残すような慣習は早急に見直すべきであろう。温暖化はかつてないほどの速さで進んでいる。そして、若者たちの情報共有や行動の速さも目覚ましい。慢性的なメンバーの減少は私たちを取り巻く環境の変化速度と私たちの環境への適応速度との差に起因するという解釈は不都合な真実なのだろうか。

我が地区に1977年生まれの伊賀保夫がバナーが誕生し、政界に1981年生まれの小泉進次郎環境大臣が誕生した今、若い世代の人たちにとって死活問題である環境問題にどのように取り組んでいくのか。若者たちは私たちの姿勢と覚悟を凝視している。 マーケティング・コミュニケーション・IT委員会副委員長 L 桂 太郎

クラブアクティビティや委員会セミナーの予告、報告は330-A地区HP右上の投稿欄からお願い致します。
330-A NEWS デジタル版は過去の地区ニュース7年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることができます。
HPは「330Aで検索」



2019-20 マーケティング・コミュニケーション・IT委員会メンバー紹介

L吉岡 晋	委員長	けやきLC	L茂岡幹弥	委員	白門LC
L大類雅之	副委員長	江戸川中央LC	L遠藤真太郎	委員	江戸川中央LC
L赤尾嘉晃	副委員長	豊新LC	L細田未央	委員	表参道LC
L津守勝男	副委員長	大森LC	L三代勝之	委員	スパルLC
L桂 太郎	副委員長	世田谷LC	L花堂浩一	委員	中野LC
L坂本純一	副委員長	三鷹LC	L宮本和実	委員	調布LC
L根岸雅也	副委員長	八王子いちょうLC	L石田 賢	委員	三鷹LC
L荒牧知子	委員	東京LC	L高田龍司	委員	秋川LC
L小野健志	委員	ピースLC	L新井大介	撮影協力	新宿LC
L中村 攻	委員	葵LC	L野村瑠里	担当副幹事	スパルLC